

春季彼岸法要の「案内」

コロナ禍の生活が常態化（3年目）してきますと、私たちの生活様式もその変化に適応せざる中、新たな価値観と不安・ストレスも混在して、社会はいささか疲れた様相を呈しています。皆さまにはその後いかがお過ごしでしょうか。さて疫病コロナの収束を日々願う中に、春のお彼岸を迎えます。

当日は手指消毒・マスク着用・座席位置等、「三密」にならぬよう配慮し、お勤めいたしますが、ご参拝にご不安のある方は、同封の振込用紙に回向名（〇〇家先祖代々または戒名）を記入してお送りくださいませ。丁重にご回向いたします。また、ご参詣いただきました皆さまと共に、コロナ終息祈願と皆さまの健康とご安寧を祈念いたします。

日時 三月二十一日（月曜日）お中日（

午後一時 お彼岸法要・ご先祖様ご供養

コロナ終息祈願



★お彼岸の教え・・・春分・秋分は彼岸の中日★

お彼岸は三月と九月の年二回。法律では「春分の日」は自然をたたえ生物をいつくしむ日。「秋分の日」は祖先を敬い、亡くなった人を忍ぶ日と定められています。春分・秋分の日は、太陽が真東から上がり、真西に沈む日で、昼と夜の長さが同じ日であります。これは仏教の説く**中道の教え**と共通点があります。中道とは、単なる真ん中ではなく、どちらにもかたよらない心、バランスの取れた心のことです。私たちは日常の考え方や行為の中で、とかく一方にかたよりがちになるものです。そしてそれが自覚できないことが普通にあります。だからこそ私たちは自らの行い、心のあり方を省みてかたよらない中道の教えを守って生きていくことが大切です。特にコロナ禍で自粛・制約の生活は、思いのほか心身に疲労困憊を感じられていると思います。どうぞお念仏をお称えし、常に阿弥陀さまに見守られているという確かな信心のもと、こころ安らかな日々を送って参りたいと存じます。